

## 絵本と子どもたちの笑顔と



新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月から中止になっていた市内図書館での絵本の読み聞かせが再開されました。

雄勝図書館で開催された、ボランティア「おはなしはあと」による読み聞かせに、真剣に耳

を傾け笑顔を見せる子どもたち。読み聞かせを担当したボランティアの皆さんは「久しぶりに子どもたちの笑顔を見ることができてうれしい。これからものどかな時間を楽しんでもらいたい」と話し、参加した保護者は「読んでくれる本や読み聞かせ方など、家で読み聞かせるときの参考になる。やさしいお話しをしてくれて、子どもたちが笑って喜んでくれるので何度も参加している」と再開を喜んでいました。

※今月のおはなし会の予定は、本紙16～17ページの「市民カレンダー」をご覧ください。



6月25日

健康増進等に関する包括連携協定 締結式

▲協定書を手に鈴木市長と大塚製薬(株)仙台支店長の迫上智博さん(写真右)

## 健康で持続可能なまちづくりを

市は、大塚製薬株式会社と「健康増進等に関する包括連携協定」を締結しました。

本協定は、同社において培われた知見やノウハウを生かし、市民の健康維持・増進など健康課題の解決を図るもの。運動、健康づくり、熱中症の予防講座のほか、災害時における支援物資の提供など、市民誰もが安心して元気に健康づくりに取り組める環境を整備し「持続可能なまちづくり」を目指します。

## 地熱で乾燥「ミッチェリー」 「品種ごとの味わい楽しんで」

湯沢翔北高校商業クラブの生徒たちによる、地熱を利用した乾燥サクランボ「ミッチェリー」の加工作業が、皆瀬地熱利用農産加工所で行われました。

生徒自らが収穫した「三関さくらんぼ」を、一つ一つ手作業で種を取って実を開き、乾燥施設へ。乾燥後は袋詰め、納品まで生徒たちが行い、この日に加工されたミッチェ



7月11日

リーは、8月中旬ころから湯沢市・雄勝郡内の道の駅などで販売される予定です。

生徒たちは「味、品質が変わらぬよう先輩たちから受け継いできたミッチェリー。佐藤錦やナポレオンなど品種ごとの味わいを楽しみながら、おいしく食べてもらいたい」と話していました。